

宇宙の神秘を傾聴し日本美を再発見した建築家タウト！



BRUNO TAUT

-青雲の志と現代-

開催日 2023年4月11日（火） 13：30～17：00
会場 熱海起雲閣 音楽サロン 静岡県熱海市昭和町4-2
料金 無料
お申込み 熱海ブルーノ・タウト連盟 080-3217-3297
オンライン聴講：一般社団法人 日本バウハウス協会web
お問合せ 080-3217-3297（矢崎）
主催 熱海ブルーノ・タウト連盟
共催 一般社団法人 日本バウハウス協会



Werkbund Weißenhofsiedlung Bruno Taut



令和5年度 熱海ブルーノ・タウト連盟特別講座

第一部 講演

13:30~14:50

講師：ヴォルフガング・レーナート

演題 ■ ブルーノ・タウト 青雲の志と現代

通訳：田中辰明

第二部 パネルトーク

15:00~16:00

：ヴォルフガング・レーナート & 田中辰明

演題 ■ タウトの志とSDGs

第三部 講演

16:10~17:00

講師：マンフレート・シュパイデル

演題 ■ タウト：日本の工芸芸術と家具

ブルーノ・タウトは、シュトゥットガルト大学教授であったテオドール・フィッシャー設計事務所で1904-1906年の間修業しました。1906年に師匠フィッシャーが受託した仕事「ウンターレキシングエンの教会」の改修仕事を任せられ、完成した後独立しました。1906年にコーリンのヘドヴィック・ヴォルガストと結婚、ベルリンで設計事務所を営みます。1910年にドイツヴェルクブンドに入会し、バウハウス初代校長のヴァルター・グロピウスと交流しました。1927年、ドイツは第一次世界大戦で敗戦し、タウトは著しく低質となったドイツの住宅を向上させようと、ドイツヴェルクブンドが行った「ヴァイセンホーフジードルングの住宅コンペ」に参加し、住宅を設計しました。タウトは常に「環境に配慮」した設計をおこなっています。

タウトの孫であるクリスチーネ・シリーの夫オットー・シリーは、タウトの環境に対する考えを高く評価し、緑の党を立ち上げた政治家。その後ドイツ社会党に転籍し、内務大臣として環境政策を推し進めました。

ヴォルフガング・レーナート



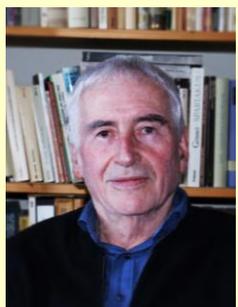
1963年 ドイツ、エスリンゲン生れ
1983年~1985年 建築仕上げの工芸教育受講
1985年~ カイザーズラウテルン大学、ウイーン工科大学、Stuttgart大学にて学ぶ。
ウィーン、シドニー、ヴァンクーバーで実務
1994年~1996年 ヴィースバーデン市、エスリンゲン市で建築家として執務
1996年~1997年 京都大学留学 (DAAD, 文部省奨学生)
1999年~2008年 自営建築家/レーナート建築工房
2008年~2011年 「江戸時代の日本の民家の壁に関する研究」で工学博士/Stuttgart大学建築歴史部門
2008年~2016年 エスリンゲン市建築設備部門の責任建築家
2016年~ 教会建築の企画主任建築家・南ドイツ新教皇協会
2021年~ Stuttgart地域の商工会議所教育アカデミー講師、エスリンゲン市技術アカデミー講師

田中辰明



1940年 東京生まれ
1963年3月 早稲田大学第一理工学部建築学科卒業
1965年3月 早稲田大学大学院理工学研究科建設工学専修修士課程修了
1965年4月 (株)大林組入社技術研究所勤務
1971~73年 DAAD奨学生としてベルリン工科大学ヘルマン・リーチェル研究所客員研究員
1902年4月 お茶の水女子大学生活科学部生活環境学科教授
2006年3月 お茶の水女子大学退職、名誉教授
2006年 ドイツ技術者協会よりヘルマン・リーチェルメダル授与
工学博士(早大) 国土交通大臣表彰 厚生労働大臣表彰
(一社)日本断熱住宅技術協会理事長

マンフレート・シュパイデル



1938年生まれ
シュトゥットガルト工科大学でディプロム・インデュニアの学位、建築学を修了
1965年 ウルム工科大学講師
1966年~1975年 東京に研究滞在 1973年早稲田大学大学院博士課程修了
1975年~2003年 アーヘン工科大学で建築理論の教授
専門はヨーロッパと日本の現代建築史、建築人類学、実験的粘土構造
1983年 デュッセルドルフで日本建築、
2007年 東京のワタリウムで日本建築の展覧会
2013年~ 建築家ブルーノ・タウトの文学作品を出版

